

夕張市地域安全克雪方針策定支援業務 仕様書

1. 業務の目的

本業務は、豪雪地帯対策特別措置法に基づき、近年の記録的な降雪や、除雪を担う地元建設業者の人手不足・高齢化に対応するため、「地域安全克雪方針」を策定することを目的とする。特に、持続可能な除排雪体制の構築に向け、効率化や業者支援策に重点を置いた検討を行う。

2. 業務期間

契約締結日～令和 10 年 1 月 31 日とする。

3. 業務内容

受託者は、本市の現状を分析し、以下の項目を遂行すること。

(1) 現状把握・課題分析

気象・人口データ分析：降雪傾向と将来の人口推計、高齢化率の推移の整理。

除雪体制の可視化：現在の除雪路線、待機場所、雪捨て場のキャパシティの整理。

担い手実態調査：除雪従事者の年齢構成、保有機械の老朽化状況の把握。

(2) 市民ニーズの把握・整理

市民アンケートを実施して住戸の状況(克雪・非克雪)、除排雪の課題、必要な支援策等を把握する。市民アンケート調査は全世帯(約 3,500 世帯)を対象とする。関連部署へのヒアリングによる福祉除雪等の課題を把握し、除排雪に関する市民ニーズを整理する。

(3) 地元建設業者へのヒアリング・課題抽出

市内の除雪請負業者を対象に、対面または書面によるヒアリングを実施する。

労務管理の限界、機械更新の負担、待機料・拘束料の妥当性、深夜作業の負担軽減策など、現場の生の声を取りまとめる。

(4) 持続可能な体制(担い手確保)の立案

公助・共助の役割分担：道路除雪業者が担うべき幹線道路と、高齢者福祉除雪受注業者または住民やボランティアが担うべき生活道路の境界設定など、公助・共助

の役割分担を検討する。

業者支援策の策定：待機補償の改善、機械の貸与・共同購入補助など、業者が事業を継続するための具体的支援スキームの提示。

ICT 技術の活用提案：通信技術の有効利用、効率的な配車・ルート最適化など、ICT 技術を活用した先進事例の調査、地域で展開可能な活用案の提示。

(5) 検討委員会の運営補助

学識経験者、地元業者代表、住民代表等で構成する検討委員会の運営（資料作成、設営、議事録作成）。検討委員会は各年度 2 回ずつの計 4 回を想定する。

2 専門的・客観的な視点を確保するため、前項にあげる学識経験者の助言・指導を受けること。また、学識経験者の活用に係る費用を積算に含めるものとする。
3 前項にあげる学識経験者については、あらかじめ本市と協議のうえ、本市が適当と認めた者を充てるものとする。

(6) 地域安全克雪方針の策定

上記検討結果を整理し、地域安全克雪方針としてとりまとめる。

4. 成果品

地域安全克雪方針（本編・資料編） 正副各 1 部

概要版パンフレット（住民配布用） 1 部

電子データ式（CD-ROM または USB）

（任意）除雪委託料等シミュレーションシート（Excel 形式等）

5. 特記事項

打合せ・協議は各年度 1 回ずつの計 2 回及び検討委員会の開催にあわせて実施する。適宜 WEB 会議等で必要な協議を補足する。

本計画は「空き家対策計画」等の関連計画との整合性を図ること。

地元業者の事業継続性に配慮し、現場のオペレーションに即した現実的な提案を行うこと。